

JR東労組盛岡

No. 44
2022年9月30日
東日本旅客鉄道
労働組合
盛岡地方本部

〒020-0045
盛岡市盛岡駅西通二丁目16番31号
発行人 佐々木克之
編集人 情宣部
NTT 019-623-1011 FAX 019-624-0157
JR 033-2238・2239 FAX 033-2230

盛地申 第3号 本人の生活設計やキャリアプランを無視した「変革2027を踏まえた新たなジョブローテーションの実施について」の施策運用の是正を求める緊急申し入れ

団体交渉実施！①

1. 一部職場で発生している人事異動に伴う事前通知前のコミュニケーションがないまま、前日の予告のみで通知した理由を明らかにすること。

回答 事前通知前のコミュニケーションがなかったとは考えていない。引き続き必要なコミュニケーションを図っていく考えである。

【主な議論内容】・会社 ★組合

・組織再編という大きな施策により多くの調整が発生し、確定に時間を要した結果、事前通知前のコミュニケーションが一部前日になってしまった事実はある。盛岡土木技術センター、盛岡電力技術センター、盛岡信通技術センター、青森保線技術センター、盛岡機械技術センターで一部あったと確認している。

・全ての職場で事前通知前のコミュニケーションが無かったという事はない。

事前通知前のコミュニケーションが前日になった事実を認める！

・事前のコミュニケーションを丁寧にやっていくことはこれまで伝えてきたし、何ら変わらない。結果的に前日になってしまったという事。組織再編だからといって特別に前日になって良いとは思っていない。

★前日に意識付け、次の日に事前通知というのは丁寧なコミュニケーションではない！一定期間の期間を確保してやるのが丁寧なコミュニケーションではないか！

・期間の長短は社員の受け止めによって違いはある。確定している情報をいらずに延ばすのであれば早く伝えるべきだが、まずは内容をしっかりと伝えることが丁寧なコミュニケーションだと思っている。

丁寧なコミュニケーションについて認識一致せず。

★意識付け以降、家族と話をしたり、質問などを通じて疑問や不安が解消し、納得感が高まる。その期間が意識付けから事前通知までの期間である。そこがあってこそ丁寧なコミュニケーションだ！

・主張は否定しないが、不確定な情報より、確定した情報を今回は伝えた。丁寧なコミュニケーションとして質問があれば対応する。前日だからといって社員の話を聞かないという事は無い。

丁寧なコミュニケーションや納得感を高めるための期間をしっかりと確保すべきだと繰り返し主張！

・28日の幹本申1号の団体交渉において「転居を伴わない管内の異動については事前のコミュニケーションを図らずとも良い」という認識を現場長が持っていたと議論しているが、盛岡支社としてはそのような認識は無い。人事異動にあたってはコミュニケーションは必要だ。

北幹保現場長が認識していた慣例について、盛岡支社としてはそのような認識は無いことを確認！

・社員の納得感を高めることは必要なこと。期間が必要となれば努力することはやらなければならない。

・時間軸を意識して進めることは大事なことである。期間が無いよりはあった方が良いが、期間というより、内容をしっかりと社員に向き合って伝えていくことが大事である。

一定期間の確保の努力はこれまでと同様に今後もやっていく考えを確認！

盛地申 第3号 本人の生活設計やキャリアプランを無視した「変革2027を踏まえた新たなジョブローテーションの実施について」の施策運用の是正を求める緊急申し入れ

団体交渉実施！②

2. コミュニケーションがなく事前通知を出した事象を是正し、改めてコミュニケーションを図り、納得感を高めてから事前に通知すること。

回答 引き続き必要なコミュニケーションを図っていく考えである。

【主な議論内容】・会社 ★組合

- ・前日になってしまった現実があったが、社員に対し異動の目的等はしっかり伝えている。コミュニケーションが無かったとは考えていない。引き続きコミュニケーションは図っていく。
- ・前日になった事象を是正するという事については、前日になる場合もあり得ると考えている。引き続き時間軸を意識しながらやっていく。

★前日の意識付けで翌日の事前通知というのは不十分だという問題意識である。今回は施策に伴いということだがあるべき姿ではない。期間を確保し、意識付けをするのがあるべき姿である！

- ・結果的に前日になる場合もあるということ。時間軸を意識してやる部分は当然ある。前日までに伝えれば良いという乱暴なものではない。
- ・ジョブローテーション施策の団体交渉でも納得感を高める努力について議論している。その考えは変わらない。

この間の労使議論は前提であることを共通認識として確認。

★事前通知の前日の意識付けでは困る。もっと時間軸を意識して欲しいという社員の声を受けている。支社として今回の事象を否定的現実、反省的に捉えるべきだと主張している。

- ・組合側の主張は受け止めるが、今回の取扱いを支社側が反省しなければならないことだとは思っていない。やるべきことをやった結果前日になったが、コミュニケーションは図ってきた認識である。反省的、否定的現実には該当しないと考えている。

会社として今回の事象を否定的現実であると受け止めるべきだと指摘。

★期間をしっかり確保してのコミュニケーション、納得感を高めていくことはセットである。結果的に前日になることはあるにせよ、時間軸を作る努力は今後もするべきだ。

時間軸を意識してコミュニケーションを図り納得感を高めていくことを確認！

- ・兼務発令についても、目的や理由をしっかり伝えるべきだという考えは人事異動だけでなくやっていくことは必要なことである。

**丁寧なコミュニケーションや納得感を求め
労働組合の視点から検証運動を展開し、安心して働ける職場風土を創りあげよう！**